



4 お口の検査

診察準備

* 歯医者さんのイスに座ります *

先生がスイッチを押すと、傾いてベッドになります。



検査で使う道具



ライト

お口の中は暗いので、上から明るく照らして見やすくします。



お水を吸う掃除機 (バキューム)

お口の中の水やつばをを吸い取るために、専用の掃除機を使います。

治療する道具

台の上にはお口の中を見たり、治療をするときに使う道具が置いてあります。



いろいろな道具を使います。



お口とお口のまわりを細かくチェックします

歯医者さんは歯だけでなく、舌や喉、お口まわりの筋肉など、お口に関連することについていろいろな視点でチェックします。

* 歯医者さんが見ていること *

歯や歯ぐきについて

歯の汚れやむし歯、歯ぐきの状態などを見ます。



お口の中に異常はないかな？

舌や喉、お口まわりの筋肉

舌の動きや喉の扁桃の大きさ、お口の開き具合などを見ます。



お口がほかんと開いてないかな？

食べかたについて

かみ合わせや、頬・舌の動きを見ます。



もぐもぐ両方でかめているかな？

寝ているときの状況

いびきなどでも呼吸やかみ合わせの問題がわかります。



寝ているときはどんな状態かな？

発音や滑舌について

話しかたにかかわる舌や唇の動きを見ます。



話しかたに問題はないかな？

いろいろなことを見せてもらいます。





乳歯が生えそろういました！（3～6歳ごろ）

歯が生えそったら本格的な本人みがきの習慣づけをしましょう。歯ブラシは持ち手が太く、柄の長さが短いもので、毛がついている部分は仕上げみがき用の歯ブラシより少し大きいものを使いましょう（乳歯列用）。仕上げみがき用の歯ブラシはみがき始めの頃と同じものを用意しましょう。仕上げみがきは歯だけではなく、歯肉側に毛先を向け、やさしくみがいてあげると歯肉炎の予防になります。

① 本人みがきの方法

持ちかたは持ち手をグーで持つようにして、鏡を見ながら順番を決めてみがくようにしましょう。細かい動かしかたは難しいのでまずはきちんと歯にあたっているか、シャカシャカ音を立ててみがけているかを確認してあげましょう。

* 歯ブラシの種類とみがきかた *

歯ブラシの種類

左から、仕上げみがき用、乳歯用（～6歳ごろ）、混合歯列用（6～12歳ごろ）、永久歯列用（12歳ごろ～）。



みがきかた

持ち手をグーのようにして、鏡を見ながら順番を決めてみがきます。



歯ブラシをくわえて歩き回ると危険です。鏡を見ながら順番を決めてみがきましょう。

お子さんのお口の開けかた

みがくときのお子さんのお口は、いつも大きく開けるのではなく、唇や頬側のときは「い」の口でみがきましょう。そのとき歯ブラシを持っていないほうの手で唇や頬を引っ張って、歯と歯ぐきの境目まで見える状態でみがきましょう。

つつい、真剣な顔つきになってしまいがちですが、みがきながら好きな歌を歌ったり、お母さんが笑顔でいることでお子さんも歯みがきの時間が楽しくなります。



「い」の口で！



歯が見えるように

② フロスを使おう

この頃は歯と歯の間がむし歯になりやすい時期です。歯みがきだけではみがけない歯と歯の間を、デンタルフロスを使ってみがきましょう。頻度は1日1回、食べかすが挟まっていなくても使うようにしましょう。

* デンタルフロスの使いかた *

フロスの種類

糸を指に絡めて使うものや、ホルダーに付いたものなどいろいろあります。





1 むし歯ができると

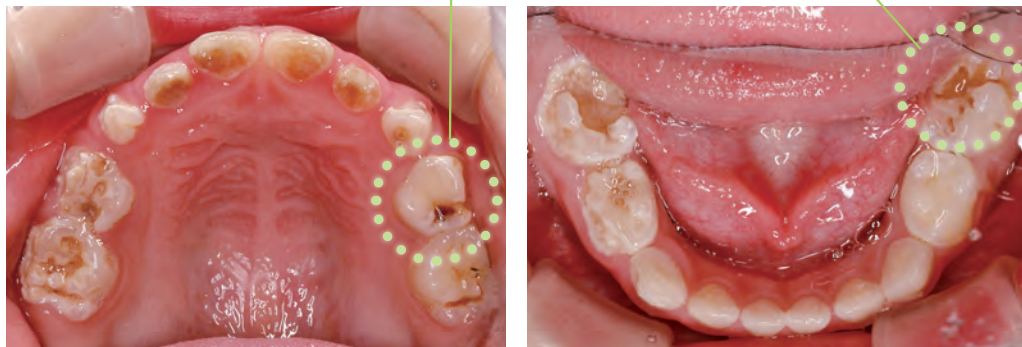
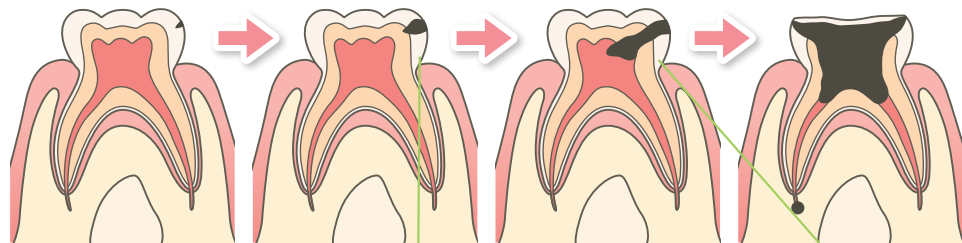
* むし歯ができるとこうなります *



- 食べかすなどが挟まって臭い
- 歯がしみたり痛い、かめない
- 歯肉が腫れる、口が開かない
- 熱が出る
- うまく発音できない
- 見た目が悪い

* むし歯が進むと *

乳歯のむし歯は進行が早く、むし歯が進行すると歯が崩壊します。乳歯の下には永久歯の芽がありますので、むし歯を放置すると永久歯に影響が出ることがあります。早期に発見して治療を受けましょう。



2 乳歯のむし歯が進行すると

かむ力や顎の発育にも影響

痛みでかめなくなったり硬いものを避けるなど偏食になったり、かむ回数が減ってかむ力や顎の発育にも影響します。

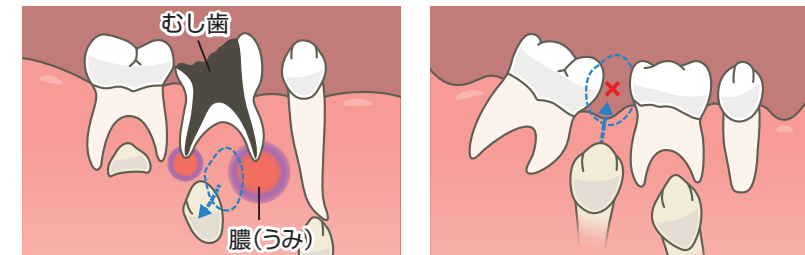
永久歯への影響

乳歯のむし歯を放置するとむし歯菌も増加し、他の乳歯や永久歯がむし歯になりやすくなります。また、永久歯の色や形が悪くなります（形成不全）。

歯並びに影響

むし歯で歯を失うと、隣の歯が倒れてきて永久歯の生えるスペースが少なくなったり、永久歯の生える方向が変わったり、歯並びが悪くなります。むし歯が見つかったら、大きくならないように早めに治しましょう。

* 乳歯のむし歯の影響 *



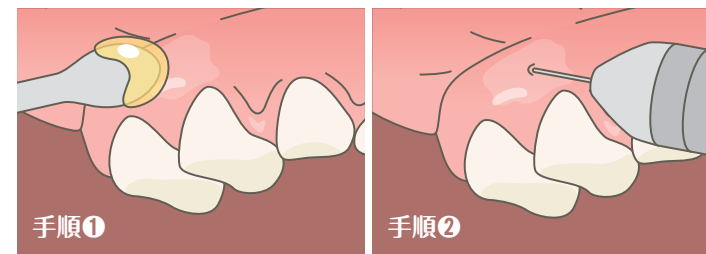
3 むし歯の治療

むし歯治療の進めかた

① 局所麻酔

治療をする際には、痛みがないように局所麻酔をします。

* 局所麻酔の手順 *



手順①

麻酔が痛くないように、表面に薬を塗ります。

手順②

しびれたら、ゆっくり麻酔をします。少し押される感じがします。

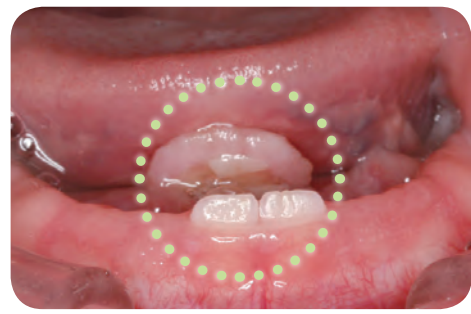


もう歯が生えている・舌の裏に口内炎が!?

診断 リガ・フェーデ病



尖ったところを少し削り、丸めました。



歯にセメントを付けて、舌への刺激を減らしました。



2週間後



4週間後



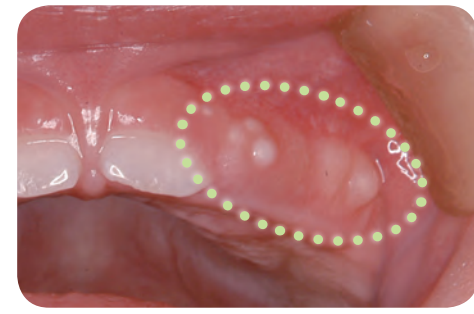
症状 赤ちゃんのお口に先天歯（生まれたときにすでに生えていたり、早めに生えた乳歯）があり、その歯が哺乳時に舌の裏側に当たることでできた白っぽい傷（潰瘍）のことをいいます。

対応 前歯の先を丸めたり、尖った歯の先を接着性の材料で覆い、舌への刺激を減らして様子を見ます。それでもミルクが飲めず、体重が増えない場合は原因の歯を抜くことも考えます。



歯が生えるところに白いぼっぼっ?

診断 上皮真珠



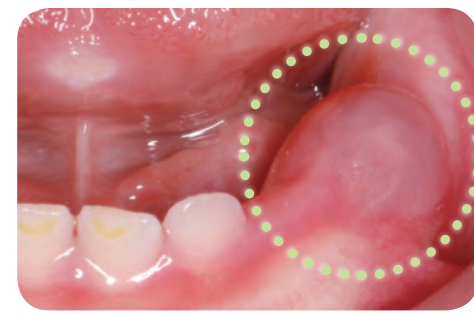
症状 乳歯が生える前の歯肉に白色の粒（直径1~3mm）が見えることがあります。これは歯が作られる過程で、吸収されずに残った角化物の一部で上皮真珠といえます。

対応 乳歯が生えてくる頃には自然に消えますので、様子を見ます。



歯肉（歯ぐき）が赤紫色に膨らんでいる?

診断 ほうしゅつのうほう 萌出嚢胞



2月後



1歳4か月。赤紫色に膨らんでいます。



1歳6か月。歯が生え、膨らみはなくなりました。



症状 乳歯が生える直前に、その部分の歯肉が赤色や紫色に膨らんでくることがあります。エックス線写真を撮ってみると問題なく、もうすぐ乳歯が生えてくる像がみられます。これを萌出嚢胞といえます。

対応 まずは、歯が生えるのを待ちます。歯が生えることにより自然に消失します。